

社協たより

第144号

2009.7.1

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市山部側筒谷616-145
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552 e-mail: nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp



第34回よこいと運動会

もくじ

●福祉センター入館料改定のお知らせ	2	●図書室	4
●社協事業計画	2	●お知らせとご寄付	5
●社協事業紹介	3	●おもちゃ図書館のおがた	6
●地域の輪	4	●登録ヘルパー募集	6

今回お手伝いいただいた、
各ボランティアグループ・
各種団体・高校生の皆さん
お疲れ様でした。(Y・K)

初めて見学した私は、場
内の各所で、賑やかに語ら
う声や笑い声が飛びかっ
ていたのが、印象的であつた。
そして、この小さな運動会が
みんなの明日からの活力に
なればと、願っている。

「よこ(横)」の關係に重き
を置き、おたがいの絆を確か
めあう事を目指して、市内
の各地域に暮らす人たちが、
性別や年齢・障害の有無に
關係なく集まり、みんな
楽しく体を動かし、和氣あ
いあいと一日を過ごした。

去る6月7日(日)に今年
で34回になるという、永い歴
史を誇る「よこいと運動会」
があつた。

kantera

カンテラ



新料金

200円

200円

中学生以下無料

旧料金

200円
(60歳以上)

300円
(60歳未満)

小学生以下無料

平成21年4月1日より、直方市総合福祉センターの入浴事業及び巡回バスの廃止に伴い、入館料を改定しましたのでお知らせいたします。

**直方市
総合福祉
センター
入館料改定の
お知らせ**

平成21年度 直方市社会福祉協議会 基本方針・重点推進項目と予算

基本方針

社会福祉協議会は、時代が変わっても「住民の福祉にかける状態の克服」を目指し、住民の目線で活動を行うという役割があります。

しかし、行政からの補助金や委託金に頼らざるを得ない体質は、住民目線という面において少なからず問題を抱えています。

地域福祉の拠点であるべき総合福祉センター運営費と事業費の確保は、今後さらに厳しくなることが予想されるため、大きな見直しが必要です。

そのためには、総合福祉センターの利用価値・存在価値を、今までとは違う視点でも高め、総合福祉センターの運営そのものが社協らしさを発揮することとなるような方向性を打ち出す必要があると考えます。

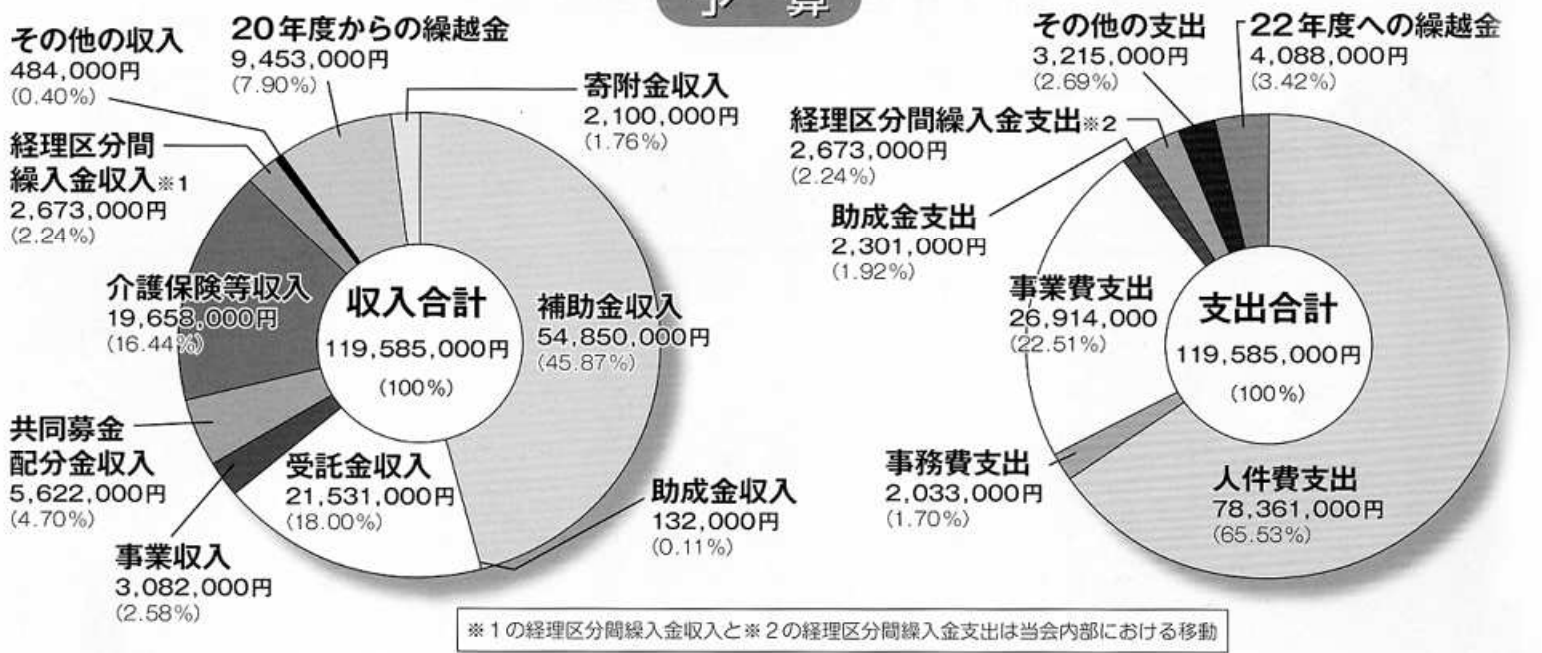
福祉の総合的な窓口としての役割を発揮しつつも、真に住民の福祉に欠ける状態の克服に的を絞ろうとする取り組みからは、自然と方向性が見えてくると思われます。

以上のような思いで、この危機を乗り越えるため、本会の役職員が一丸となって、組織運営、事業推進に努めてまいります。

重点推進項目

- 1 総合福祉センターの地域福祉の拠点としてのあり方を見直し
- 2 総合福祉センター業務や土日勤務体制の見直し
- 3 ホームページの開設などによる理解者・応援者の発掘
- 4 役職員の問題意識の共有

予算



直方市社会福祉協議会では、 おもに次のような事業や活動を行っています。

1 福祉教育や福祉の啓発

- 地域福祉セミナーの開催
- 広報啓発紙(社協だより)の発行
- よこいと運動会
- 福祉まつり など



2 地域生活のお手伝い

- 移動送迎サービス
- 配食サービス
- 障害者相談支援センターるーぷる
- 日常生活自立支援事業
- 生活福祉資金の貸し付け
- 車いす等の貸し出し
- おもちゃ図書館 など



3 ボランティア活動の支援(ボランティアセンター)

- ボランティア活動の調整
- ボランティアルームの提供
- ボランティア活動保険の加入促進
- ボランティア活動資材の貸し出し など



4 小地域福祉活動の推進

- 校区社会福祉協議会の支援
- 組織化活動 など



5 共同募金運動の協力

- 福岡県共同募金会直方市支会との連携
- 街頭募金 など



6 直方市総合福祉センターの運営

- 健康増進活動
- 教養娯楽活動 など

7 居宅介護サービス事業

- ホームヘルプサービス
- ケアプランサービス など



「直方に住んで良かった」と言われるまちづくりに、
ご理解とご協力をお願いいたします。

桜の木のトで



木で出来たオモチャはよく工夫されており、飽きることなく子どもたちが夢中になって遊び、かえっこパザールでは、子どもたちが大きな声で客を呼び込んでいた。フリーマーケットには手作りの作品が多く並び、来場者がそれぞれに品定めをして楽しんでいった。

新入和楽太鼓の演奏は迫力のある音で皆を引き付け、巧妙な節回しのバナナの叩き売りに買い手の大きな声が響いた。

「アンパンマンと遊ぼう・南京玉すだれ」等の企画もあって楽しさいっぱいの会場だった。最後は来場者の三申踊りに炭坑節で盛り上がり、快晴の桜の花散る最高の場所、子どもと大人が一緒になって、楽しいひと時を過ごした。

(T・S)

平成21年4月5日、植木の旧筑豊高校で、NPO法人子育てなかまや、植木校区自治公民館、植木校区民生委員・児童委員協議会、つどいの広場のお母さんたち、直方子育てネットワーク「すくすく」、「すまいるwish」、直方市地域子育て支援センターの主催で「桜祭り」が開催された。

元氣サロン 実施中

直方市老人クラブ連合会 会長 政本 國重



急速な少子高齢化が進み、今や日本は世界一の長寿国になりました。

人口減少と、本格的な高齢社会に直面し、財政の健全化を増大する社会保障費の対応と言う課題の中で、継続可能な社会福祉制度の構築に向けて大きな転換期を迎えています。

このようななかで老人クラブは健康づくり、介護予防活動に重点を置き、地域高齢者全体を視野に入れ、健康づくり活動の推進に努めています。

平成20年、市の委託事業として6校区で実施した、介護予防の一環の「元気で長生き元氣サロン」を、本年は全校区で実施しています。元氣高齢者を目指す仲間の輪を広げ、ニュースポーツ、いきいき体操で活力を結集し、社会の期待に応えるよう努めてまいります。

この写真は元氣サロン実施中の一部です。



図書室 聴導犬・美音がくれたもの

著者 松本 江理

発行者 日高 裕明

発行所 ハート出版

盲導犬は全国でも有名ですが、聴導犬・介助犬という言葉は、あまり聞きなれないと思います。どちらも障害者を支援する犬です。「聴導犬・美音がくれたもの」この本は、読んでいるうちにハラハラしますが、心暖まるすてきな本です。

ママは見た目では普通の人と変わらないけど、聴覚障害者です。そのママを助けるのが、聴導犬・美音なのです。

オレンジ色の胴着とリードが目印で、音を教えるだけでなく、側にいるだけで周囲の人に聴覚障害者と、気づいてもらえます。

とても感動します。あなたもこの本を一度読んでみませんか？

(T・Z)





より使いやすく ～直方市総合福祉センター 障害者トイレを改修～

平成21年2月27日、直方市総合福祉センターの障害者トイレを改修いたしました。

以前から、「障害者トイレが使いにくい」との声があり、オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)対応の障害者トイレにいたしました。

トイレの改修には皆様から頂いた、赤い羽根共同募金の配分金を使わせていただきました。ありがとうございました。

宗家西川流「市之会」 チャリティー公演にて寄付

平成21年5月24日、ユメニティのおがたにて、日本舞踊の宗家西川流 師暦30周年記念 第2回「市之会」チャリティー公演が実施されました。

チャリティーにて集まったお金は、社会福祉推進のため、直方市社会福祉協議会に寄付していただきました。

宗家西川流「市之会」皆様のご好意に感謝し、いただいたご寄付は、大切にに使わせていただきます。



- 下新入 大塚 克人
- 新町 香月 富美代
- 畑 末永 真幸
- 中泉 増田ハル子
- 上頓野 熊井 孝子
- 中泉 正津 千代子
- 知古 池田 昌信
- 上新入 平野 善子
- 永満寺 月足 峯子
- 上頓野 田丸 好子
- 下境 吉武 哲也
- 頓野 日高 アヤ子
- 頓野 蘭田 東作
- 頓野 長田 道明
- 上新入 中村 寅雄
- 頓野 (故)松岡 史郎
- 感田 窪山 恵美子
- 千葉県 紅谷 三喜男
- 中泉 内方 知子
- 直方 木下 哲夫
- 溝堀 (故)千原 しのぶ

香典返し寄付金

- 中泉 日高 萬亀子
- 中泉 長谷川 隆
- 植木 小山 慶子
- 山部 渡邊 純一郎
- 頓野 中西 千代子
- 頓野 (故)江口 ヒロ子
- 感田 安徳 マスミ

一般寄付金

- 感田 中野 榮七
- 千葉県 小島 正紀
- 福岡ひびき信用金庫
- イングスクラブ
- 宗家西川流 市之会

ご寄付ありがとうございます。
ございます。

平成21年2月16日～平成21年6月15日
33件 合計金額787,226円
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)



「おもちゃ図書館のおがた」

開館日を変更しました。



6月から、利用実績と利用者の希望により、開館日を変更いたしました。

平成20年7月27日「おもちゃ図書館のおがた」は「おもちゃの図書館全国連絡会」に会員番号670でデビューしました。そして4月28日、総会を開き開設からの活動と実績を振り返り新たな運営目標を設けスタッフ活動の柱となるものを確認しました。

①おもちゃを通じて心身に障害や発達の違いのある子どもや親御さんとの関わりを深め、よりよい交流の場を提供して成長の支援をしていくようにします。

②14名の開館スタッフがいまでは多様な19名の活動仲間となりました。さらにボランティアを募り楽しく活

③各新聞社や地域の広報に多く掲載いただき、新たな利用者やボランティアの希望者がいまま来館されています。地域に話題や機会を提供できるようにしていきます。

開館してそろそろ1年近く、すでに顔なじみのお子さんも、多くおられます。元気な声と成長して行く姿を見られるのがスタッフの何よりの楽しみと励みになります。今日も多くの子どもさんと親御さんのおこしを待っています。



お問い合わせ・ご利用案内

【電話】

0949(23)2551

【場所】

直方市総合福祉センター階

(おもちゃの部屋)

直方市山部6-1-145

【利用料】無料

新人ヘルパーも頑張ってます。



用していただきました。

介護を必要とする方の自宅へ訪問し、調理・掃除等の生活援助、入浴・オムツ交換の介助をしています。

何の経験も無い私は、不安と戸惑いもありましたが、一つひとつ丁寧に指導していただきながら、又、同僚のヘルパーさんたちに相談しながら日々奮闘中です。

利用者の方から学ぶ事や教えられることも多くあります。又、「おいしかったよ」「部屋が綺麗になって気持ちいいね」などもありがたうの言葉を掛けていただくと、この仕事に携わって良かったと実感している毎日です。

私は子どもたちが成長し自分の時間が出来た時、今まで興味を抱いていたヘルパーの研修を受講し、資格を取得しました。

「せっかく取った資格を活かせないかなあ」と思っていた矢先、昨年12月の「社協だより」のヘルパー募集を目にして面接を受け、採

一緒にヘルパーとして働いてみませんか

■資格 ヘルパー2級以上 普通自動車免許

■賃金(時給)

生活援助

(日中) (早朝夜間)
1,000円 1,200円

身体介護

(日中) (早朝夜間)
1,550円 1,860円

移動支援(ガイドヘルプ)

(日中)
1,400円

■活動時間 7時～21時

※勤務時間は相談の上

直方市社会福祉協議会 ホームヘルプサービス

【担当】香月・秦

【電話】0949(23)2551

(平日8時30分～17時)

お問い合わせ

皆様からの声を

お待ちしております

個人や地域での悩み事・困り事、地域の福祉に関する取り組み、ユニークな活動などの情報がありましたら、ぜひご連絡ください。

お問い合わせ

直方市社会福祉協議会

(電話)

0949(23)2551

(ファックス)

0949(23)2552

(メール)

nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp

編集後記

去る5月31日に水害を想定した直方市総合防災訓練が、行われました。

直方市にもいつ、どのような災害が起きるかわかりません。

災害が起きてから出来るネットワークや協定書ではなく、全国の災害事例を教訓とし、突然くる災害に備えていくことが大切ではないでしょうか。あなたならどのように考えますか。

(M)